

回顧2013

②

◆4月◆

7日 宇佐市長選が告示され、現職の是永修治氏が無投票で再選した。

同日 オープン10年目を迎えた大分市の大分マリンパレス水族館「うみたまご」の入館者が800万人を達成した。



うみたまごで開かれた記念セレモニー

9日 日出陽谷高と山香農高が統合して新設された日出総合高で、1期生の入校式が行われた。

14日 佐伯、竹田、豊後高田、豊後大野の4市長選と、佐伯、竹田、豊後大野の3市議選が投開票された。市長選はいずれも現職が勝利した。

25日 昨年7月、タクシー運転手を殺害したとして、強盗殺人罪に問われた元中国人留学生の王琛被告に対し、大分地裁は無期懲役の判決を言い渡した。

30日 JR九州が2015年春の開業を目指し、大分市の大分駅ビルの工事を始めた。

◆5月◆

3日 津久見市のテーマパーク「つくみイルカ島」の入場者が、オープン3年目で20万人を突破した。

6日 大分市中心部の昭和通り交差点にかかる歩道橋の撤去作業が始まり、横断歩道のみ利用に切り替わった。

15日 大手プラントメーカー「日揮」が国内最大級の大

うみたまご800万人突破

国東半島・宇佐が世界農業遺産に

規模太陽光発電所の完工式を開いた。

18日 サッカー・J1に昇格した大分トリニータがリーグ戦で初勝利を挙げた。

24日 ローマ法王フランシスコに就任を祝う手紙を送った国東市の熊毛小に返礼メッセージが届き、全校集会で披露された。

29日 国連食糧農業機関(FAO)がクヌギ林とため池を活用した「国東半島・宇佐の農林水産循環」を世界農業遺産に認定した。

30日 強制わいせつ致傷罪に問われた無職男の裁判員裁判で、被害者が特定される恐れがあるとして、被告の氏名などを伏せた県内初の審理が大分地裁で始まった。

31日 県高校総体の総合開会式が大分市で開かれた。6月3日までの期間中、67校の約7500人が34競技に出場した。

◆6月◆

2日 「泥んこバレーの元祖」とされる中津市の「泥田バレーボール」の最後の大会が開かれ、25年の歴史に幕を下ろした。

5日 臼杵市出身の映画監督の塩屋俊さんが56歳で亡くなった。同市などを舞台にした「種まく旅人～みのりの茶～」などの作品で知られた。

14日 8日にAKB48グループのファン投票で1位になった大分市観光大使の指原莉乃さんが帰郷し、市長に結果を報告した。

19日 宇佐市の宇佐神宮が所蔵する「豊前国宇佐宮絵図」が国の重要文化財に指定された。

25日 1916年の建設当時、世界一の高さを誇った大分市佐賀関の「関の大煙突」が解体され、地元で記念碑の除幕式が開かれた。

29日 映画「永遠の0(ゼロ)」で使われた零戦の模型の一般公開が、宇佐市平和資料館で始まった。